

第26回例会報告

多摩ブルー・グリーン倶楽部 × 多摩地区大学就職研究会 「新卒採用」に関するグループディスカッション

多摩地域17大学のキャリアセンター職員によって構成される「多摩地区大学就職研究会」との連携により、「新卒採用」をテーマに、相互理解と今後の継続的な協力関係の構築を図るためのグループディスカッションを行いました。

内容

第26回例会は昨年に続き、多摩地域17大学のキャリアセンター職員によって構成される「多摩地区大学就職研究会」と連携し、会員企業の多くが経営課題の一つとしている「新卒採用」をテーマに、意見交換の場を設けました。

事前アンケートに基づき、今回は会員企業とキャリアセンター職員が本音を語り合う場にするため、「企業側」7~8名、「大学側」5~6名でそれぞれグループをつくり、6つに分かれ各30分×3回のグループディスカッションを行いました。



倶楽部会員企業からは、社長や採用担当者が参加

【企業からの主な質問・意見】

●中小企業に就職を希望する学生はどのくらいいるか ●学生が重視する企業情報はどこか ●就職ナビサイト以外に有効な採用ツールはあるか ●インターンシップは業種によって難しい ●せっかくインターンシップに参加されても満足しているか判断できない ●インターンシップの期間が短いと関係が希薄になる ●今の若い方(学生)は失敗を恐れて受け身だ など。

【大学からの主な質問・意見】

●1dayや2dayインターンシップをどう思うか ●短期間のインターンシップを把握するのは難しい ●社会が求めるコミュニケーション能力に達していない学生が多い ●社会背景の影響もあるが学生が元気がない ●学生の就職に対するモチベーションの差がある ●公務員・教員試験と重複時はどう対応してもらえるか ●内定上位は女子学生が多い ●母親が会社を知らないと電話で問い合わせしてくるケースが多い など。

今回も昨年同様、活発な意見交換が行われ、双方の課題やニーズを共有する場となりました。

参加された会員企業の感想

● A 社

今回はじめて参加しましたが、認識を新たにするこはばかりで大変参考になりました。特に、弊社ではこれまで取り入れてこなかった「インターンシップ」の重要性を知ることができました。趣向を凝らした企画をしてくださりありがとうございました。

● B 社

グループディスカッションという形式で、キャリアセンター職員の生の声を聞くことができました。距離感が近く、質問しやすく、ご説明が分かりやすかったです。大学は敷居が高いイメージを持っていましたが、とてもウエルカムな印象でした。

私たちが知名度のある企業の商品を手に取りやすいように、学生も企業を選択する際、名前を知っているかどうかが大きく影響することを教えていただきました。まずは会社の名前をキャリアセンターの方に知っていただくことからスタートしようと思います。

さらに、内定後から入社までの間、学生に対して定期的なアプローチが大切とのご指導を受けました。入社前から人間関係を作り、働きたいと感じてもらえるような努力をしていきたいです。

● C 社

各大学のキャリアセンター、他の企業の状況などを知ることができ、大変有意義な時間をありがとうございました。既に複数の大学と個別面談をしていただけることになっています。今回のような機会を設けていただき大変感謝しています。



会員、大学の各代表が最後に感想を発表

「多摩地区大学就職研究会」加盟校

亜細亜大学、桜美林大学、杏林大学、実践女子大学、白百合女子大学、創価大学、拓殖大学、多摩大学、玉川大学、中央大学、帝京大学、東京経済大学、東京工科大学、法政大学、武蔵野大学、明星大学、和光大学(五十音順)